

このたびは、ATOMIC (アトミック) スクーバダイビング用レギュレーター、オクトパスレギュレーターをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
この取扱説明書と製品保証書をよくお読みの上、正しくお使いください。その後は大切に保管し、必要な時にお読みください。製品保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。この取扱説明書は正規輸入代理店である株式会社タバタで取扱った製品を対象に書かれています。

この取扱説明書はレギュレーターとオクトパスレギュレーター共通説明書です。オクトパスレギュレーターのみ、お持ちの方は、《共通》と書かれている箇所をお読みください。しかし安全に使用していただくためにはすべてをお読みくださる事をおすすめいたします。

使用する前に必ずお読みください



この追加記載は、当取扱説明書(ナイトロックス及びEAN)に関する警告に該当します。ナイトロックスなどのミックスガスを使用する際は、以下の事項を厳守してください。また、オーバーホールを依頼する際には、ミックスガス(種類:ナイトロックス、トライミックス等)を使用することを必ず伝えるようにしてください。

商品名: TXFレギュレーター、T3レギュレーター、B2Xレギュレーター  
ST1レギュレーター、B2レギュレーター、B2 Oct オクトパス、Ti2 Oct オクトパス

●上記レギュレーター及びオクトパスは、タンク充填圧力が240bar (=24MPa) 未満で酸素濃度が40%以下のミックスガスに対応可能です。危険ですので、タンク充填圧力が240bar以上で酸素濃度が41%以上のミックスガスは絶対に使用しないでください。



寒冷地の使用について、0°C (50°F) 未満の極寒の海でのダイビングの場合は、オプションのアンチフリーズキット(TFXは標準装備)を取り付けて1stステージを密閉することをお勧めします。これは、1stステージ周囲のポートにフィットして、1stステージの氷結を防ぐゴム製スリーブです。1stステージに特殊な低温潤滑剤を充填するためには、特別な工具と1stステージの分解が必要です。そのため、工場またはディーラーで取り付けられる製品です。  
アンチフリーズキットから低温潤滑剤が漏れることがありますが、故意に潤滑剤を排出しなければ、オーバーホール時の潤滑剤の注入で使用上問題ありません。  
尚、潤滑剤は他の製品、スーツ、衣類などに付着しないようご注意ください。



米国アトミック社では、上記レギュレーター及びオクトパスで、タンク充填圧力が240bar (=24MPa) 未満で酸素濃度が40%以下のミックスガスを使用する場合は、通常空気との併用が可能です。しかし、日本国内ではいかなる酸素濃度比率でもミックスガス専用のレギュレーターとして使用することが一般的です。もしも、通常空気を使用した後に、ミックスガスを使用する場合は、酸素洗浄(オーバーホール)をミックスガスの知識が十分にある専門業者にて実施することをおすすめします。また、ミックスガスを使用する際は、供給ショップの指示(酸素洗浄の実施やミックスガス専用使用厳守など)に必ず従ってください。

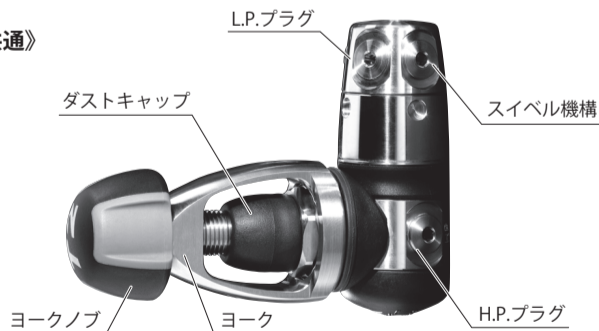
上記記載事項を厳守しないで使用すると、製品の故障はもとより、爆発及び火災が起きて、死亡事故や重症事故が発生する可能性があります。通常空気と併用する場合、ミックスガスを使用する前に酸素洗浄(オーバーホール)をすることが推奨されているのは、通常空気の中に微細な塵や炭化物、錆、油分などの可燃物が混ざっている場合があり、それが高圧酸素に反応して発火、爆発的燃焼をする可能性があるからです。

外観と名称

セカンドステージ



ファーストステージ 《共通》



※商品の仕様、外観は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主な機能と操作装置



お客様自身での分解、修理、調整、改造は絶対におやめください。適切な知識、認可を持たない方が行くと、重大な事故につながる可能性があります。

【ファーストステージ】

ヨークノブ

●この装置はレギュレーターのファーストステージを空気タンクに取り付けて、締め付け固定する際に使用します。左側に回すとネジが緩み、右側に回すとネジが締まります。  
※左側に回し続けるとネジが緩みヨーク部から外れますが、外れること自体は問題ありません。ただし必ず元の通りにしてください。

スイベル機構

●L.P.ポートが5カ所ついているスイベルヘッド部が本体に対して、360度自在に回転します。これはレギュレーターを使用中、L.P.ホースや、ダイバー自身に負担が掛からないように自由に回転する機構です。



【セカンドステージ】《共通》

パージボタン

●フェイス中央のパージボタンを指で押すことにより空気弁が開き、空気タンクからファーストステージを経由してくる空気をマウスピース開口部より放出します。空気放出量はパージボタンの押し込み量によって変化します。  
●マウスピース開口部をふさいでパージボタンを押すとエキゾースティン内のエキゾーストバルブから空気が排出します。  
※セカンドステージをくわえる前に、必ず1、2回パージボタンを押し、内部の水、ほこり、異物等を取り除いてください。



パージボタンは下記のような場合にも使用します。

- セカンドステージ内から、(海水)を排出する時: 当レギュレーターは水中でセカンドステージを口から離してしまうと、セカンドステージ内に水(海水)が浸入する構造になっています。
- 空気タンクからレギュレーターを取り外す時: レギュレーター内の空気を抜かないとヨークに圧力が掛かったままで、ヨークノブが緩みません。

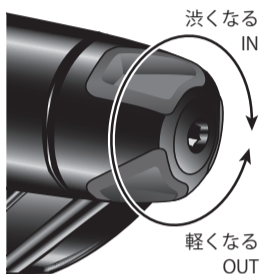
R.A.V.C.(吸気抵抗調節機構) TFXレギュレーター

- R.A.V.C.は使用者の必要とする吸気抵抗を設定することができます。調整ノブを1/4回転させることで、波のある状況やボートからのエントリー、オクトパス使用、その他の特殊な状況での素早い流量調整が可能になります。
- R.A.V.C.ノブをOUT方向(マウスピースをくわえた状態で前方)に押すと最大流量が得られます。(いわゆる“軽い”という状態)
- R.A.V.C.ノブをIN方向(マウスピースをくわえた状態で後方)に押すと流量が低下し、吸気抵抗は大きくなります。(いわゆる“重い”という状態)
- エントリー時にIN方向に調整しておく、ベンチュリー効果が起きにくくなり、潜降後、運動量に応じてOUT方向に調整していくのが有効な使用方法です。



R.A.K.(吸気抵抗調節機構)

- R.A.K.は使用者の必要とする吸気抵抗を設定することができます。
- R.A.K.ノブをOUT方向(マウスピースをくわえた状態で外側)に回すと吸気抵抗は小さくなります(いわゆる“軽い”という状態)
- R.A.K.ノブをIN方向(マウスピースをくわえた状態で内側)に回すと吸気抵抗は大きくなります(いわゆる“重い”という状態)
- お好みの位置に調整してお使いください。
- 出荷時はL.P.シート、L.P.スプリング保護のため、OUT方向に調整してあります。長期保管時も同様に調整して、保管してください。
- エントリー時にIN方向に調整しておく、ベンチュリー効果が起きにくくなり、潜降後、運動量に応じてOUT方向に調整していくのが有効な使用方法です。



R.A.V.C./R.A.K.をOUT方向に回した場合に、ゼロ吸気抵抗(フリーフロー)のポイントに設定されてしまい、空気がマウスピースより漏れた状態になる事があります。万一、このように空気漏れが発生した場合は、漏れが停止するまでR.A.K.をIN方向に回してください。それでも空気漏れが止まらない場合は、販売店に修理を依頼してください。空気漏れのまま潜水を行うと、空気切れなどをおこし、それによって重大な事故につながる可能性があります。

ご使用の前に

L.P.ホース取付け例 《共通》

当製品にはL.P.ポート(低圧用接続口)が、セカンドステージ用L.P.ホースでふさがっている1箇所を除いて4箇所あり、H.P.ポート(高圧用接続口)は2箇所あります。

L.P.ポートには、

- オクトパスレギュレーター用L.P.ホース ●B.C.J.用L.P.ホース ●ドライスーツ用L.P.ホース などがつきます。

H.P.ポートには

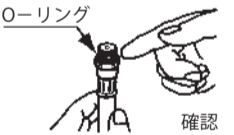
- 残圧計用H.P.ホース(コンソールケース含む) ●残圧計内蔵ダイブコンピュータ などがつきます。

他の器材との接続



ナイトロックスなどのミックスガスによるダイビングを行う場合は、必ずミックスガス対応の残圧計をお使いください。取り付けの際は必ずOリングの異物を取り除いてください。また、グリスを使用する際は、必ずミックスガス対応のグリスを使用してください。万一上記の事項を守らずに、使用した場合は、故障、損傷はもちろん火災や爆発をおこす可能性のある燃焼を招き、それが重大な事故につながる可能性があります。

- ①まず、取り付ける各H.P.ホース・L.P.ホースの接続ネジ部根元にOリングが付いているか、変形、損傷が無いかを必ず確認してください。同時にH.P.ホース、L.P.ホース本体に損傷が無いかも確認してください。もし異常があった場合は、販売店にて交換してもらってください。そのまま使用すると、空気が漏れて非常に危険です。
  - ②H.P.プラグを5/32インチ・六角レンチで外し、残圧計もしくはコンソールゲージのH.P.ホースを手締めで取り付け、適正サイズのレンチで仮締めします。
  - ③取り付ける残圧計の取扱説明書をよく読み、指示に従ってトルクレンチで締め付けてください。
  - ④《共通》次に、各L.P.ホースを接続します。該当するL.P.プラグを5/32インチ・六角レンチで仮締めします。
  - ⑤《共通》はずしたL.P.ポート部に、それぞれのL.P.ホースを手締めで取り付け、指定サイズのスパナで仮締めします。
  - ⑥《共通》この時の締め付けトルクはL.P.ホース9.8Nm(ニュートンメートル)・H.P.ホース14.7Nm(ニュートンメートル)ですので、トルクレンチにアダプターを取り付け、適正トルクで締め付けてください。
  - ⑦全てが接続できたら、もう一度適正工具を使用して締め付けトルクを確認してください。
  - ⑧これで基本接続は終了です。なお取り外したH.P.プラグ、L.P.プラグは当分の間使用しませんのでホコリ、異物が付かないように保管してください。H.P.プラグ、L.P.プラグに付いているOリングに異物等が付着したまま使用すると、空気漏れを起こす可能性があります。
- ※お子様が誤って飲み込まないように、お子様の手の届かない所に保管してください。



接続部は確実に締めていないと、空気タンクと接続してバルブを開けた際に、空気漏れを起こし、最悪の場合、使用中に空気の供給が停止する恐れがあります。また、H.P.ポート部にいたっては使用中に、Oリングが破損し、その破片が飛び散り、使用者及び周辺の人々に損害を与える可能性があります。ここまでの作業を行う上で適正工具を揃えられない、また作業を行う事に不安な方は販売店に接続作業を依頼してください。

製品の取扱方法や最新情報は、ホームページをご覧ください。

<https://www.atomicaquatics-j.com/>

日本正規ディストリビューター 株式会社タバタ お客様相談室

お問い合わせ電子メールアドレス  
atomic@tabata.co.jp



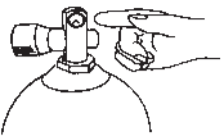


## セッティング



空気漏れがあった場合は原因がはっきりして、完全に改善できない限り、器材を使用しないでください。

- ①ファーストステージを接続する空気タンクのバルブ部Oリングを点検します。損傷、変形がある場合は交換し、異物が付着していたらきれいに取り除いてください。バルブ自体も損傷、変形が無いが点検してください。異常がある場合はタンクを交換してください。
- ②B.C.J.(浮力調整装置)を空気タンクに取り付けます。取り付け方法は、各B.C.J.の取扱説明書を参照してください。
- ③ヨークノブをゆるめて、ダストキャップを外します。
- ④空気タンクのバルブにファーストステージを取り付け、ヨークノブを締め付けます。締め付け量はファーストステージの接続面と空気タンクの接続部(バルブ部Oリング)が当たった所より、おおよそ1/4回転程度が目安です。



### 注意

締め付け量は空気タンクの接続部(バルブ)製造メーカーによって多少異なりますので、初心者の方は、必ず周囲の指導者や上級者に締めつけ具合を確認してもらってください。あまり強く締め過ぎると、素手では外せなくなる場合がありますので、ご注意ください。

- ⑤ファーストステージに接続してあるB.C.J.インフレーター(L.P.)ホースをインフレーター接続部に接続します。接続方法はB.C.J.の取扱説明書を参照してください。
- ⑥空気タンクのバルブノブをゆっくり1/2回転程度開け、各部からの空気漏れがないかを点検します。異常が無い場合は全開してから1/4回転程度ノブを戻します。

※空気漏れがあった場合は、どの位置から空気が漏れているかを確認してからバルブノブを全閉にして、後述のトラブルシューティング【空気漏れ】の欄の指示に従ってください。

- ⑦空気タンク内の空気が、各タンクの規定圧力内で充分に入っているかを残圧計で確認してください。不足している場合には空気タンクを交換するか、又はダイビングサービスで充填してもらってください。
- ⑧《共通》セカンドステージのバージボタンを押し、セカンドステージ内のほこりや異物を吹き飛ばしてください。



### 警告

マウスピースに亀裂、ひび割れ等がないかを確認してください。亀裂、ひび割れ等があると、そこから水が浸入します。使用者が飲み込んで咳き込むなどの異常を起こし、それが溺れなどの重大な事故につながる可能性があります。



- ⑨《共通》セカンドステージをくわえて呼吸を行い、空気が充分供給されていることを確認してください。
- ⑩《共通》空気タンクのバルブノブを完全に閉め、バージボタンを押し、レギュレーター内部の空気を全て抜いたら、マウスピースをくわえて吸ってください。もし、多少でも空気を吸う事ができたら、レギュレーター内部に異常がある可能性がありますので、販売店にて点検を受けてください。
- ⑪《共通》再度、空気タンクのバルブノブを全開方向にする事を忘れないでください。

## 使用上の注意 《共通》



### 警告

- ①潜水を開始する前に、必ず潜水計画の確認を行ってください。確認を怠って潜水をすることは、絶対に避けてください。
  - ②潜水を行う際には絶対に一人で潜らず、必ずバディシステムを守るようにしてください。エントリー前にはお互いの各器材の点検を済ませてください。
- 以上の事項を守らずに潜水した場合、使用者及び、バディに重大な事故が起きる可能性があります。
- ◎潜水中は、レギュレーターのセカンドステージを口から離さないでください。
  - ◎潜水中は、常に空気タンク内の空気が充分に残っていることを残圧計で確認してください。
  - ◎潜水中は、オクトパスレギュレーターをいつでも手に取れる位置に配置してください。
- B.C.J.にホースホルダーがある場合は確実に止めてください。
- ◎残りの空気量50barになったら必ず浮上を開始してください。
  - ◎浮上は必ずバディと一緒に行ってください。また、リーダーに浮上の合図を忘れずに行ってください。

## セカンドステージ内に水が浸入したら? 《共通》



### 警告

口からセカンドステージが外れるとセカンドステージ内に水が入ります。オクトパスレギュレーターも同様に内部に水が入っています。このままでは呼吸ができませんので、セカンドステージ内の水を排出しなければなりません。排出するには下記の方法がありますが、指導員の管理下にて充分な練習が必要です。水中で呼吸を再開できないと重大な事故につながる可能性があります。

### セカンドステージ内に水が浸入した場合の排出方法

**排出方法-1** 外れたセカンドステージのマウスピースを再度くわえて肺の中にある空気を吐き出し、セカンドステージ内の水をエキゾースティアーから排出させます。

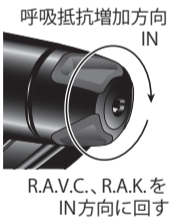
**排出方法-2** 肺の中に吐き出すための空気が無い場合は、外れたセカンドステージのマウスピースを再度くわえてセカンドステージ前面に付いているバージボタンを押すと、空気がセカンドステージ内に供給され、侵入した水をエキゾースティアーから排出させる事ができます。

## 激しい空気漏れが起こったら? 《共通》

マウスピースをくわえていない時にマウスピース開口部より空気が激しく吹き出す事がありますが、これは故障ではなく、**ベンチュリー効果**と呼ばれるレギュレーターの構造特性です。

もし、空気が吹き出した場合は、

- (1) **指先でマウスピース開口部をふさぐと**、吹き出しが停止します。
- (2) セカンドステージのマウスピース開口部を**下に向けて**と、吹き出しが停止します。
- (3) **あらかじめR.A.V.C.、R.A.K.をIN方向に回しておくことによって吹き出しを防ぐことができます。**



## 使用後の手順 《共通》

- ①潜水が終了したら空気タンクのバルブノブを全閉状態にします。
- ②セカンドステージのバージボタンを押し、レギュレーター内の空気を完全に排出します。
- ③B.C.J.のインフレーター接続部に接続してあるB.C.J.インフレーター(L.P.)ホースをはずします。
- ④ヨークノブをゆるめ、レギュレーターを空気タンクのバルブより取り外します。
- ⑤空気タンクよりレギュレーターを外したら、**ダストキャップの水滴をふきとります。**
- ⑥ダストキャップをヨークリテーナーにはめ込み、ヨークノブで軽く締め込みます。
- ⑦L.P.スプリング、L.P.シートの保護のため、**R.A.V.C.、R.A.K.をOUT方向**いっぱいの位置に設定してください。

## お手入れと保管 《共通》

- ①アトミックレギュレーターはシートセービングオフィスを採用しているため、お手入れ時はL.P.シートが圧着しない構造になっています。よって浸け置き洗いをしたり、マウスピース側より水を勢いよくかけるとホース内に水が入る可能性があります。ホース内に水が浸入するとファーストステージやゲージの残圧計内に水が浸入する場合があります。水が浸入すると、ごくまれに基本性能が低下する可能性があります。
  - ※**お手入れの際はホースを上にした状態で軽くすすぐ程度にしてください。**
- アトミックレギュレーターのセカンドステージは主要金属部品のほとんどがチタンで構成されています。チタンは塩害腐食がほとんど無い為、最低限のメンテナンスをしていただければ基本性能を維持することができます。
- ※もしも、オクトパスレギュレーターを単品で洗う場合はL.P.ホース内に水が入らないように気をつけてください。
- ②水分を充分に切ってから**風通しの良い所**で乾燥させてください。
  - ③潜水した現地で充分な乾燥が行えなかった時は、自宅に戻ってからの乾燥作業を必ず行ってください。
- ※**乾燥機は絶対に使用しないでください。**材料の劣化を招き、その結果、重大な事故につながる可能性があります。
- ③充分に乾燥したら、**高温、多湿、雨露や直射日光を受ける所や有害なガス、粉塵発生**の恐れがある所、**お子様が触れる恐れのある所は避けて保管**してください。
- ※保管の際はL.P.ホースが折れ曲がらないように注意してください。折り曲げると、折り曲げ部の耐圧強度が低下して、その部分が破裂し、重大な事故につながる可能性があります。



### 警告

- ①ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤、洗剤、化学雑巾などを使用して、レギュレーター(オクトパスレギュレーター)を清掃しないでください。材料の劣化を招き、破損の恐れがあります。
- ②乾燥場所や方法には、充分気をつけてください。ファーストステージを下にして吊るしたり、くくるなどL.P.、H.P.ホースに負担のかかる乾燥の仕方、砂等異物の混入し易い場所、色の移行し易い場所での乾燥は避けてください。故障、損傷の原因となります。
- ③レギュレーター(オクトパス)の各部に潤滑油等を付けないでください。砂等の異物が付着し故障、損傷の原因となります。
- ④真水洗を行う前に、**ダストキャップが完全に閉まっているかを確認してから洗ってください。**これを怠ると内部に水が入り、その後乾燥させても内部に水分が残ったままになり、故障や損傷の原因になります。
- ⑤真水洗い中にバージボタンを押さないようにしてください。押ししてしまうと、内部に水が入り、その後乾燥させても水分が残ったままになり、故障や損傷の原因になります。

## トラブルシューティング 《共通》

当製品に対してなんらかの異常が発生、または疑いがある場合は、下記の指示に従って処置してください。下記以外の症状の場合は、ただちに使用を中止し、現地サービスあるいはお買い上げになられた販売店にて点検を受けてください。

状 況	チェック、処理
<b>空気タンクのバルブとファーストステージの接触面からの空気漏れ</b>	・接触面のOリングに損傷、異物付着などはありませんか？ ・ヨークノブの締め付け量は適正ですか？
<b>L.P.ホース、H.P.ホースとファーストステージの取り付け部からの空気漏れ</b>	・取り付け部のOリングに損傷、異物付着などはありませんか？ ・締め付けトルクは適正ですか？
<b>セカンドステージのマウスピースからの空気漏れ</b>	・ベンチュリー効果による空気の吹き出しの可能性があります。 ・セッティング時など陸上で発生した場合はマウスピース開口部を指でふさぐのが効果的です。

状 況	チェック、処理
<b>空気が吸えない。</b>	・空気タンクのバルブノブは開いていますか？ ・空気タンクの残圧は残っていますか？
<b>呼吸時にゴロゴロ音がする。</b>	・セカンドステージ内に水が入っていますので、バージボタンを押して吹き飛ばしてください。
<b>セッティング時の排気時に異音が発生する。</b>	・呼吸に支障をきたさない限り、問題ありません。水中使用時にも異音が発生する場合は点検を受けてください。
<b>ヨークスクリューがゆるまない。</b>	・空気タンクのバルブノブは閉まっていますか？ ・レギュレーター内部に圧力が残っていませんか？ バージボタンを押してみてください。

**上記のチェック、処置で解決できない場合は、ただちに使用を中止し、現地サービスまたはお買い上げになられた販売店にて点検を必ず受けてください。**

## 保証規定 TFX、T3、B2X、ST1、B2、Ti2 Oct、B2 Oct 《共通》

TFX、T3、B2X、ST1、B2、Ti2 Oct、B2 Oct は2年に1回のオーバーホールを推奨しています。

保証期間
------

### 【10年間(指定部品)無償交換保証】

ご購入頂いた製品を弊社が指定した通り、2年毎に1回のオーバーホールを実施して頂いた場合、ご購入日より**10年間**に限り、弊社が指定する使用消耗部品をオーバーホール時に無償でお取り替えする事をお約束致します。下記の期間内にオーバーホールを受けていただかない場合は、無償交換保証の対象外となりますのでご注意ください。

### 【オーバーホールによる(指定部品)無償交換保証の継続】

ご購入日から、2年以内に1回目のオーバーホールを受けてください。今回は、1回目のオーバーホール受付日から2年以内に受けてください。但し、使用頻度によりこの限りではありません。潜水回数で空気タンク300本以上使用した場合は、2年未満でもオーバーホールを受けて頂く事が指定部品無償交換保証継続の条件となります。2年を越えオーバーホールを受けて頂く場合は、指定保証部品に関して保証対象外となり、オーバーホールに必要なパーツは全て有料となります。但し、その後オーバーホールを受けて頂き、また2年後にオーバーホールをして頂く場合は、指定保証パーツは無料となります。2年毎に1回のオーバーホールをお受けになっても、無償指定されていない部品に関しての交換(部品代金・交換工賃)は全て有償となります。

### 【初回オーバーホール工賃無償サービス】

お買い上げになられて、2年以内にオーバーホールを受けていただいた場合、初回に限り、オーバーホール工賃を無償(送料及び保証対象外での損傷による部品交換に必要な部品代・工賃は御負担していただきます。)とさせていただきます。但し、タバタ指定のATOMIC(アトミック)取扱い店で行われた場合に限りです。

※**製品の一般保証**(別添の製品保証書をご確認ください。)

弊社販売のレギュレーター及びオクトパスレギュレーターの通常製品保証は、お買い上げ後**1年間**です。この期間内に限り、製品上の不具合が発生した場合、該当部品も含め無償交換修理を致します。ただし、製品の一般保証期限を越えて発生した不具合の原因が経年変化ではなく、原因の全部又は一部が弊社に起因する場合は、その責任度合いに応じた適切な経費負担で修理交換致します。

保証の発生
-------

オーバーホール関連の保証の登録はATOMICのホームページで行っています。登録フォームに必要事項をご入力の上、ご登録ください。弊社にてご登録内容を確認後、折り返し登録確認メールをお送りします。この時点でご入力頂いた購入製品の登録が完了したことになり、保証が発生します。※ホームページ上で登録ができない場合は、販売店にご依頼ください。

ホームページアドレス <https://www.atomicaquatics-j.com>

保証出来ない事項
----------

ATOMIC(アトミック)ホームページ上で、保証登録が終了していない場合。(※製品の一般保証を除く。)

通常の使用方法に反した使用で発生した故障、損傷、破損、人的損害。

当取扱説明書に明記してある取扱い注意や警告に反した誤使用、また不適切な保管、修理、改造による故障、損傷、破損、人的障害。

天災、火災、地震、戦争、紛争、暴動、人災等による故障、損傷、破損、盗難。

2年に1回のオーバーホールを受けていない場合。(ご購入後2年以降)

以上の場合保証適用除外となり、修理、交換に要した費用は実費払いとなります。

保証修理、オーバーホールの受け方
------------------

該当製品を最寄りのATOMIC(アトミック)製品取扱い販売店までお持ちください。但し、お買い上げになられた際に保証登録を済ませていないと、保障期間内でも有料修理となります。オーバーホール工賃は保証期間内でも有料となります。(初回は除く)

お買い上げ販売店、最寄りのタバタ指定ATOMIC(アトミック)製品取扱い販売店以外でオーバーホール、または修理を受けると、その時点から指定部品無償交換保証継続は抹消されますのでご注意ください。

お約束
-----

(株)タバタでは保証システムに基づき、万一、保証期間内に不具合が発生した場合は責任をもって無償修理及びお取り替えする事をお約束いたします。従って、保証期間経過後に発生した修理、交換は原則として有料です。

ホームページ上でのお客様の登録情報は、メンテナンス事業における商品の発送、関連するアフターサービス、商品・サービスに関するお知らせのために利用いたします。オーバーホール及び修理に関する保証は**6ヶ月**となります。

部品の保有期間について
-------------

当製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後**10年間**です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。又、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店または最寄りのタバタ指定のATOMIC(アトミック)製品取扱い販売店にお問い合わせください。

注意事項
------

本保証は日本国内の正規輸入代理店の製品を購入された方のみを対象としています。

製品の取扱方法や最新情報は、[ホームページ](https://www.atomicaquatics-j.com/)をご覧ください。

**ATOMIC**  
AQUATICS  
**REGULATORS**